

# 化学物質に関するRC地域対話および 非常時の情報提供に係る事例紹介

－ 第15回「化学物質と環境に関する政策対話」資料－

一般社団法人日本化学工業協会  
2019年 9月 10日

## レスポンシブル・ケア (Responsible Care)

||  
責任

||  
配慮

私たちは、事業に関わる「環境・健康・安全」への影響に対して、**責任**もって**配慮**します

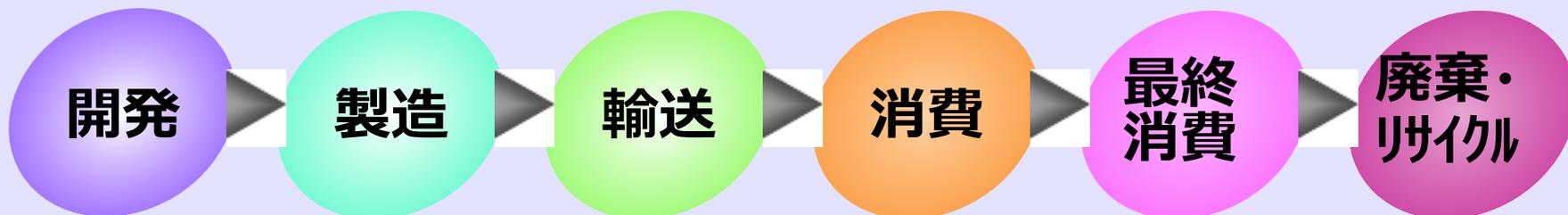
1985年      カナダで誕生  
1995年      日本でも活動を開始  
2018年12月現在

世界の約60の国で活動中

※日本化学工業協会・RC委員会：  
会員企業115社



## 化学製品のライフサイクルにわたる管理 (ゆりかごから墓場まで)



化学品を扱うそれぞれの企業が

- ・化学品の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全ての過程において
- ・自主的に「**環境・健康・安全**」を確保し
- ・その**成果を公表し、社会との対話・コミュニケーション**を行う**自主活動**

地域対話は各地区が主催し、社会との相互理解を深め、信頼関係を築くため、社会との直接対話方法の一つとして、複数の事業所とそれら工場近隣の住民、行政、教育等の関係者により実施している。

## 地域対話実施の 15地区



## 地域住民との対話 (RC地域対話)

**1997年** 千葉・山口地区  
RC地域対話集会開始

1999年 7地区に拡大

∴ ～順次地区を拡大してきた～

現在では、**15地区**で開催 (隔年/地区)  
(コンビナート地区中心)



事業所個々の住民対話集会

(1)出席者(概ね50~200名、その内企業以外20~120名)  
 住民(自治会)、行政(県、市、消防、警察)、教育(教員、高校生など)、  
 NPO等 および企業

(2)プログラム例

- ①企業からのRC活動の説明
- ②意見交換(パネル討論)
- ③工場見学
- ④有識者等による講演

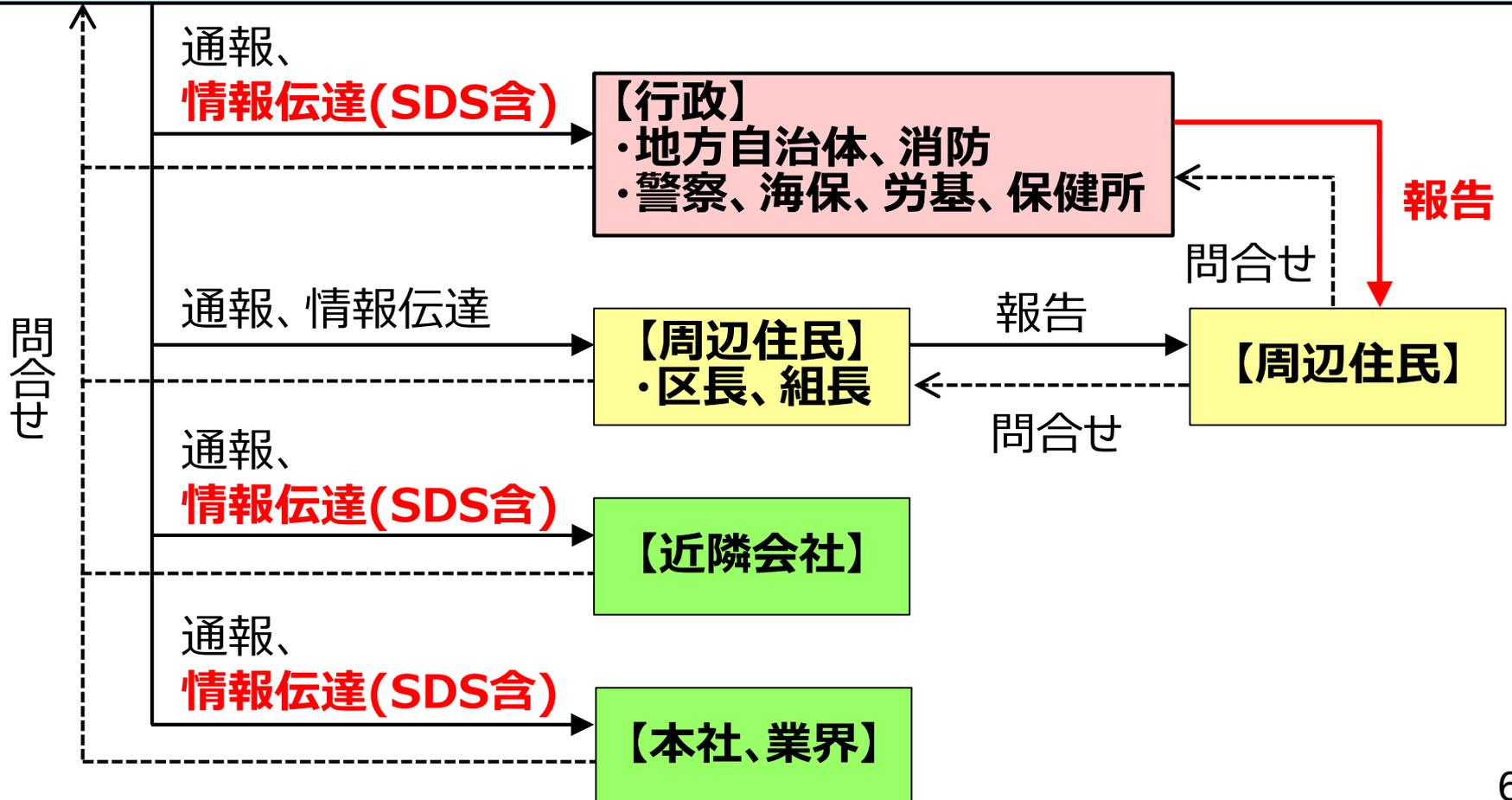
(3)参加者の主な関心

- ◆化学物質の管理
  - ・パイプライン内容物の情報開示
  - ・生産・保有化学物質の性状開示
  - ・ハザードマップ作成
- ◆地震・津波への対応
  - ・地震対策での想定震度
  - ・緊急用非常電源の対応
- ◆非常時の連絡体制、迅速な連絡
- ◆その他
  - ・学校への出張教育、地元行事への参加
  - ・地域対話参加企業への信頼度の向上(意見)



## 【事業所：各現場】

- ① 取扱い物質に関する法対応、取扱い方法、保管方法、環境影響及び**緊急時対応**などをシステム等で整理
- ② 従業員に保安安全、労働衛生、ISO、環境法令等を**SDS**を用いて教育を実施



ご清聴ありがとうございました。



**Responsible Care**



日化協公式キャラクター ニッカちゃん